

国労ちば

労働者による春闘の構築を！

拡大地方委員会開催

3月2日、地本会議室において第184回拡大地方委員会を開催した。

松田副委員長の能登半島地震による被災者へのお悔やみとお見舞い、合理化の進む職場の実態と千葉駅頭宣伝の報告を含めたあいさつで始まった。

議長に幕張電車区の十文字委員を選出し議事が進められた。

加藤執行委員長、東日本本部の中谷執行委員のあいさつを



国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

困りごと一人で悩まず 国労へ相談

活動方針

昨年9月9日に第77回定期大会を開催し、合理化反対、労働条件の改善、安全・安定輸送の確立、2024春闘勝利、そして喫緊の課題である組織強化・拡大の取り組み、平和と民主主義を守る闘いに全力をあげることが

確認し、決定された方針に基づき運動を展開してきた。
3月16日実施のダイヤ改正は波紋を広げ自治体や経済団体も見直しを求めている。内房線の特急の廃止やワンマン運転の導入、列車本数の削減など地方の切り捨てとも取れる施策が実施されてきた。明らかに安全と利便性が低下している。地域

再発防止に努めるよう求めていく。
地方ローカル線の問題では、「日本国有鉄道」を承継したJR会社は、公共性を一番に重要視しなければならぬ社会インフラ企業であり、それを厳守する義務がある。
第77回定期大会以降の中間的な総括と、次期定期大会までの運動の進め方を建設的な議論を活発にかわしていただき、方針案に肉付けしていただくことをお願い申し上げます。執行委員会を代表しての挨拶とする。

公共交通を守るという立場で今後も利用者や沿線自治体、地域の仲間と連携して取り組み必要がある。
JR貨物は2030年までの「JR貨物グループ経営ビジョン」を策定し、完全民営化をめざすとしている。鉄道貨物輸送の役割は年々高まっているが自然災害により鉄道貨物輸送の全国網が寸断され、深刻な経営問題となっている。職場では昼夜を問わない劣悪な労働実態にも関わらず低賃金で働かされる中、

退職する社員も後を絶たない。JR発足以来抱える経営矛盾、構造矛盾の解決が急がれる
JR東日本、JR貨物と関連会社で働くすべての労働者の要求づくりと労働条件改善、安全・安定輸送の確立、闘う労働者への支援と地域共闘との連帯、憲法改悪阻止をはじめとした闘いと、国民的課題・政治的課題と国労の闘いを一体のものとして職場・地域から運動を強化していくことにある。

合図燈

国鉄最後の採用者として保線一筋に41年間務めた。

▼国鉄改革で揺れるJR発足前に北海道から千葉に広域異動で着任した。▼列車が約2時間1本の下級線と違い、高架橋に3〜5分間隔で電車が走るのを見て驚いた。▼幾多の困難を乗り越え業務スキルを付けたが、ベテラン社員の大量退職期に「技術継承の為にJR本体に残ってほしい」と現場長に言われたが結局は「原則出向」という理由で残れなかった。▼JR東日本は「JR採用の新社長が就任する」と発表し「世代交代の機運が高まった」と説明しているが現場はどうだろうか？▼中核を担う50代のJR社員が極端に少ないばかりか、電力などの設備部門の死傷事故が相次ぎ運行トラブルも頻繁に発生している。▼「技術継承が滞りがちではないか」と思いながら私自身、出向職場でエルダー社員として保線業務とは違う仕事を四苦八苦しな

能登半島地震被災者にお悔やみとお見舞いを申し上げます。
職場での不満に悩み苦しんでいる労働者の多くは自己解決に走り若年退職が後を絶たない。国労組織の現状は厳しいが組織強化を目的とした「分会体制の再編成」に取り組んだ。労働組合だからできる



委員長 加藤 晃一

委員長あいさつ

安全問題では、上野〜大宮間において停電事故が発生し大規模な輸送混乱と、復旧工事関係者の感電事故が起きた。背後要因を含めて原因究明を徹底的に行

東日本本部は第41回東日本定期委員会を開催した。◆JR東日本は社員に生産性の向上を求め拙速に施策を推進させている。東日本本部はグループ会社・関連会社も含め社員が安心して働ける環境、労働条件改善を求めていく。◆24春闘において東日本本部は満額回答の闘いを展開していく。今年度より夏季手当交渉も同時期に



委員長 中谷 執行

東日本本部あいさつ

行うこととなり、3、0ヶ月15万円の要求で新賃金と合わせて手当交渉を取り組む。◆国鉄世代がエルダー出向に移行する中で、JR世代にどう国労運動を継承し発展させていくかを考えることが、国鉄採用組合員の役割であり、過度な負担を負わずに運動を継承できる体制を作っていくかなければならない。国鉄労働組合員としての誇りと自信をもち国労運動の継承させていきたい。◆そのためにも機関整備として「今後の組織の在り方」についてご議論を進めて頂きたい。

(福)

討 論

◇安田委員(千葉統合)



分会再編
し非常に
広範囲の
分会とな
った。▼窓

口の閉鎖が相次いでいるが、基準が曖昧で提案から実施まで時間が短く押し切られてしまふ。▼特急が指定席化され変更しようにも話せる券売機では長時間待たされ間に合わなくなる。窓口社員は「えきねっと」などを使えない利用者からの苦情のはげ口となっている。

◇古賀委員(千葉機区)



貨物協議
会の定期
委員会と
分会大会
を合わせ

て開催をした。▼検修部門が隅田川機関区に移管になり千葉の検修要員が削られる。▼マスコミ報道は政倫審などの報道が少なくガツカリしている。政治を変えなければならぬ。▼地域との交流も必要であり小湊鐵道などとも交流したかどうか？

◇寺林委員(千葉設備)



社員代表
選挙はネ
ット投票
を提案さ
れたが投

票状況を調べられる恐れがあるのでは断った。投票箱付近に管理者がおり、近づかないよう要請した。組織人員以上の得票があった。社宅から退去しなくてはならない仲間がおり出向が終わる7月末まで遠距離通勤を強いられるので改善を求める。

◇竜崎委員(運輸統合)



運輸職場
では慢性
的な要員
不足状態

だ。ダイヤ改正の概要はパンフレットを渡されるだけで利用者に質問されても満足に答えられない。事前の教育訓練を強く要望する。▼カスタマーハラスメントについては苦情や意見とは言えない理不尽な利用者が多くいる。個人任せではなく会社として対応してほしい。

◇石橋委員(木更津)



国労から
の社員代
表選挙の
立候補者
が無く社

員代表の社員と意見交換し国労運動を繋げていくことを考えている。▼特急が全席指定になるが列車が遅れ、モバイルで予約している場合はどうするのか？快速のグリーン料金金が3段階になるが現在Suicaの発売を停止している。利用しやすい環境を整えてから料金設定すべきだ。

◇鈴木委員(津田沼)



2名の仲
間がパー
トで雇用
継続を希
望したが

採用されなかった。通知も遅く会社は不誠実だ。▼西船橋の「みどりの窓口」が閉鎖され、通学定期券発売時期は特に影響が大きい。窓口でない扱えないことも多い。▼タブレットでの車イス連絡を京葉線以外にも拡大導入が予定されているが具体的な説明が無い。分かっていることがあれば教えてほしい。

◇議長あいさつ◇



私の職場
(CTS)
幕張事業
所)は離

職率が非常に高くいきなり若い仲間が辞めていく。話を聞くと共通しているのが賃金とか福利厚生の中で、家族を養って生活できるような環境ではないことだ。そういうことも含めて声を出せる職場を作っていくのは、多分我々しかできない。▼今日皆さんから発言を受けたことを職場に持ち帰り役に立てたい。

書記長集約



昨年第77
回定期大
会を開催
し、合理

化反対、労働条件の改善、安全・安定輸送の確立、2024春闘勝利、そして組織強化・拡大する闘いに全力をあげることを確認した。▼分会の再編と江東・千葉支部、家族会の解散を行ってきた。社員代表選挙などを通して労働組合の必要性を訴え組織拡大につなげていく。▼3月16日のダイヤ改正が波紋を広げ

2・13千葉駅頭宣伝

コロナ禍により駅頭

宣伝等も自粛せざるを得ない状況が続いていたが2月13日、千葉駅にて宣伝行動を行い、作成したチラシをティッシュとともに配布した。

3月16日実施のダイヤ改正が発表され、京葉線の快速列車の廃止は利用者だけでなく自治体や経済界からも反対の声が上がった。名

ばかりの「改正」に我慢の限界が越えた結果

と言える。

政党や支援団体の応援もありJRの安全問題や利用者を顧みないJR施策・久留里線の廃止反対を多くの人に訴えかけ、用意したチラシ・ティッシュは予想より早く配り終えることができた。

多くの反対の声を受け、ダイヤを一部修正するのは前代未聞だが利用者の要望にこたえるには程遠く、JRは次

ている。利便性やサービスの低下を招く施策に対して利用者や沿線自治体、地域の仲間と連携して取り組んでいく。▼JR貨物は完全民営化を目指している。しかし職場では、劣悪な労働条件と低賃金から退職者が後を絶たない。今委員会の任務は国労の将来展望を見据え組織強化・拡大を全力で取り組むことにある。JR東日本、JR貨物とJR関連会社で働く労働者の要求づくりと労働条件改善、安全・安定輸送の確立、闘う労働者への支援と地域共闘との連帯、憲



回のダイヤ改正に向けて「宿題」を課された。鉄道が果たす役割と責任を考えもつと丁寧な説明をし理解を求めていけば今回のようなことにはならなかっただろう。

法改悪阻止と、国民的課題・政治的課題と国労の闘いを一体のものとして職場・地域から運動を強化していく。

松本実紗さん

労金千葉支店の国労担当者が田中京平さん(左)から松本実紗さん(右)に変わりました。よろしくお願いたします。



お知らせ

クロネコヤマトがメール便を取り扱わなくなったため、発送回数を含め発送方に変更が生じています。

「TUNAG」アプリの活用などSNSの利用も検討中です。アプリへの登録など皆様のご理解とご協力をお願いいたします。